

# すくすくと育つ大輪の花 自律する向日葵ナース

九大病院別府病院看護室は、「向日葵」のようにすくすくと  
目標に向かって伸びるあなたを支援したいと考えています。  
患者さんが温もりと安らぎを感じていただけるような看護師  
であってほしいいつも願っています。

## 教育理念

自らのキャリア開発を通して成長できるよう支援し、  
専門職としての質の高い看護を提供できる人材を育成します。

## 教育方針

- 01 自ら資質の向上を図り、自己研鑽に努める看護職員を育成します。
- 02 専門職業人として求められる能力を育成し、人間性豊かな看護職員を育成します。
- 03 高度な看護実践能力と専門的役割を段階的に習得するため、九州大学病院本院や看護協会の研修および各種学会等への積極的参加を支援します。



誠実で、前向きに行動できる  
人間性豊かな看護師を育成

総看護師長(副看護部長)  
眞弓 恵美子

当院は九州大学病院の分院として、専門性の高い医療を提供する役割を担っています。看護室も日々前進する新しい医療に対応できる安全で安心な質の高い看護の実践を目指しています。そのためにチーム医療の一翼を担う看護師として期待に応えられるよう、各種委員会活動やWG活動を推進し、知識・技術・調整力等の幅広い成長を支援しています。患者さんの心に寄り添える看護師としての成長を各個人が目標として掲げ、前向きに行動する姿勢が大切です。看護室では、本院の研修体制に倣い新人教育体制を整え、先輩たちと共に学び、自らの力を発揮できるようにサポートを行っています。希望に応じて、キャリアアップを図れるように大分県看護協会の研修をはじめとした多くの研修会に積極的に参加しています。多くの体験を通して、向日葵のような大きな花を咲かせるために一緒に頑張りましょう。

## MESSAGE

### 新人・先輩看護師からメッセージ

#### プリセプター

2階病棟 / 2017年入職

たとえ新人でもみんな看護師の仲間なので、いつでも周りを頼ることや時間がかかっても一つひとつのことをきちんと終わらせることの大切さを後輩に伝えています。そのためには自分の意見を言いやすい環境づくりも大切。最初は悩んでいた新人看護師が自分なりの考えを持ち、患者さんに安心感を与える対応ができていたのを見たときは、努力が見えてとても頼もしく感じました。



#### プリセプティ

2階病棟 / 2022年入職

入職当初の4月は右も左もわからない状態でしたが、プリセプター制度やPNS制度があるほか、プリセプターの先輩だけでなく他の先輩方も指導していただけるおかげで、私にもできることが増えてきました。初心を忘れることなく患者さんに寄り添った看護を変わずに提供できるよう、まずは「一つひとつのことを確実に丁寧にする」という目標に向かって、毎日頑張っています。

### キャリア支援メッセージ

#### 慢性疾患看護 専門看護師

2019年入職

慢性疾患看護専門看護師として膠原病やがん、糖尿病などの慢性疾患を持つ患者さんに対し、大学病院における専門性の高い医療を提供するとともに、患者さんに安心していただける看護につとめています。病院という環境から生活の場である在宅へ、その暮らしを支えるため、患者さんのセルフケアへの支援とともに地域とのつながりや入退院に関する取り組みを強化し、多職種と協働しながら外来看護の充実を目指しています。



#### 緩和ケア 認定看護師

2003年入職

がんの治療を受ける患者さんを中心に、身体的な苦痛症状や不安、苦悩などの症状緩和ができるようにケアをするほか、がん患者さんの意思決定支援にも取り組んでいます。その関わりでも感謝の言葉をいただいたり、和らいだ表情が見られたときは、うれしく感じる瞬間です。今後もスキルの上を目指し、患者さんとケアを実践する医療者のみんなの笑顔が少しでも増えるような活動を続けていきたいです。

他に手術看護認定看護師、日本糖尿病療養指導士、院内認定看護師(感染管理・周術期看護・褥瘡ケア領域)の看護師が専門性を発揮しています。

### チーム医療 マンマ(乳腺)チーム

女性で最も多い乳がんの検査・治療とケアに多職種チームで取り組んでいます。看護師は手術や化学療法・放射線療法を受ける患者さんが安心して生活できるように外来と病棟と継続して支援していく中での意見と実践能力をチームの取り組みに活かしています。



### 病院の概要

#### OVERVIEW

日本の医療をリードする「九州大学病院」の分院として、専門的医療の提供とともに、地域の身近な存在に。新病院で皆さんを迎えます。

九州大学病院別府病院は、「温研」として地域住民に親まれた伝統をもち、時代の変化に対応したさまざまな活動を展開しています。難治とされているがんや免疫疾患の治療では内科と外科が協働し、整形外科では脊椎外科の専門として手術治療をはじめとする最新・最高の医療を提供できるように取り組んでいます。また、「湯けむり医療ネット」に参加するなど、地域の医療機関との連携も積極的に図っています。令和6年春に開院される新病院では婦人科が新設され、女性全般の疾患を診療する体制がこれまで以上に強化されます。もちろん、温泉を活用した保険医療は継続し、最先端医療だけでなく、優しい療養環境とケアを提供することで、年齢や性別を越えて安心して暮らせる地域の実現を目指します。また、九州大学病院本院との人的交流をさらに強めるなど、診療・看護の両面で進化を続ける九州大学病院別府病院に、地域からの期待がますます高まっています。



令和6年完成 新病院